

講師プロフィール

鵜飼 育弘 氏

Ukai Display Device Institute 代表 技術コンサルタント

1968年 大阪大学卒業、同年ホシデン(株)入社 1979年から主にトップゲート型 a-Si TFT-LCD の R&D および事業化に従事。1989年 Apple Macintosh portable に世界で初めて 10 型モノクロ反射型の a-Si TFT-LCD が採用された。

世界で初めて民間航空機(ボーイング社 777)コックピット用ディスプレイとして TFT-LCD が採用された。

スペースシャトルのコックピット用ディスプレイとしても採用された。

Du Pont と a-Si TFT と Se による直接変換型 X 線ディテクタ(FPD:Flat Panel Detector)を開発実用化。

1999年東京工業大学から工学博士号授与される。

同年3月退職(退職時開発技術研究所参与)。1999年ソニー(株)入社 STLCD にて技術部長として LTPS TFT-LCD の量産立ち上げに従事。

世界で初めてガラス基板上に LTPS TFT によるシステム・オン・パネルの量産。2002年からモバイルディスプレイ事業本部担当部長及びコーポレート R&D ディスプレイデバイス開発本部 Chief Distinguish Engineer として、技術戦略・技術企画担当。In-Cell 化技術を学業界に提唱し事業化を推進した。

2008年3月 ソニー(株)退職

2008年4月から現職

2013年10月から大阪市立大学大学院非常勤講師
